



東海道 十九 五十三次 江尻／歌川広重／静岡市歴史博物館所蔵



東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望／歌川広重／個人蔵

浮世絵で楽しむ

三保松原

富士山世界文化遺産登録10周年記念
令和5年度企画展Ⅲ

12.16(土) - 2024.2.4(日)

三保松原を題材にした浮世絵作品(パネル含む)を中心に約30点紹介します。

〒424-0901

静岡市清水区三保1338-45

☎054-340-2100

✉mihoshirube@city.shizuoka.lg.jp

<https://miho-no-matsubara.jp/>



みほしるべ
静岡市三保松原文化創造センター
SHIRUBE Shizuoka City Miho no Matsubara Culture & Creativity Center

開館 9:00~16:30
年中無休・入館無料



※最新の開館状況はHPでご確認ください。

令和5年度企画展Ⅲ

浮世絵で楽しむ 三保松原



東海道名所図会／歌川芳虎／個人蔵



富士三十六景 駿河三保之松原
歌川広重／個人蔵



雙筆五十三次 江尻
三代歌川豊国・歌川広重
静岡市歴史博物館所蔵



東海道薩陀峠之景／歌川貞秀／静岡市歴史博物館所蔵

三保松原は、古くから歌枕として詠まれ、富士山と一体として表現されてきました。絵画においては、室町時代の伝雪舟筆「富士三保清見寺図」の構図が、富士山と三保松原の絵の基本形となり、模写や影響を受けた作品が生まれました。江戸時代になると、庶民の文化として浮世絵が流行し、三保松原も多くの作品に取り入れられました。特に、旅行ブームを背景に制作された東海道をテーマにした作品では、宿場の風景として盛んに描かれ、人々の旅への期待を膨らませる名所の一つとして広く親しまれました。

今回の企画展では、富士山と組み合わせさせた構図や、羽衣伝説の天女など、三保松原が題材となった浮世絵（パネル含む）を中心に約30点展示し、芸術の源泉としての三保松原の一端を紹介します。

会期中イベント

■ワークショップ

「浮世絵のシャドーボックスを作ろう！」

三保松原の風景を描いた浮世絵の絵柄を使って、簡単なシャドーボックスを作ります。

※シャドーボックスとは、絵柄の紙を重ねて立体的に作るアートです。

日 時：1/7(日)、1/21(日)
各日10:00～15:00
随時受付

会 場：みほしるべ2階会議室
定 員：各日25名

(先着順・参加費無料)

申 込：不要、当日直接会場へ

※定員に達し次第終了



完成イメージ

■みほしるべ展示クイズラリー

みほしるべ館内の展示を見て答えるクイズラリーです。参加者にはみほしるべのノベルティグッズをプレゼント。

日 時：展示開催期間中の日曜祝日、
9:00～15:00 随時受付

定 員：各日30名(先着順・参加費無料)

申 込：不要、当日直接みほしるべ受付へ



←各イベントの最新情報は
みほしるべの公式サイト
でご確認下さい。

■プチ松原保全研修

松葉でペレットを作ろう！

松葉を機械で細かく刻んで固め、ペレットを作ります。

日 時：1/20(土)
11:00～12:00
13:00～14:00

会 場：みほしるべ前広場(雨天中止)

定 員：20名(先着順・参加費無料)

申 込：不要、当日直接会場へ

